

各 位



兼松、兼松アグリテック、「宙炭（そらたん）」を製造する TOWING と連携し、
国内農業の有機転換と脱炭素に資する農業資材の供給網構築を開始

兼松株式会社（以下、「兼松」）と兼松アグリテック株式会社（以下、「兼松アグリテック」）、株式会社 TOWING（以下「TOWING」）は、農林水産省が推進する「みどりの食料システム戦略」に沿った化学肥料の使用量低減および有機農業の拡大に資する取組みとして、国内市場を対象とした、有機配合肥料と高機能バイオ炭のセット販売を開始しました。

■ 背景

2021 年 5 月、農林水産省は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定し、2050 年までの農林水産業ゼロエミッション化や、輸入原料や化学肥料の使用量 30%低減、有機農業の面積拡大等を推進しています。中でも、バイオ炭の農地施用は、炭素を農地に固定することに加えて、土壌の地力向上や透水性・保水性・通気性の改善等にも効果があるとされており、農業分野の脱炭素化のみならず、持続可能な食糧システムの構築に資する取組みとして認知されておりました。この「バイオ炭の農地施用」は、J-クレジット制度運営委員会によって、GHG 削減に有効な方法論であると承認される等、これからも取組み拡大が見込まれる分野です。

■ TOWING の取組み

株式会社 TOWING は、「サステナブルな次世代農業を起点とする超循環社会を実現する」をミッションに掲げ、温室効果ガス排出削減と減化学肥料・有機転換を同時に実現する土壌改良資材である高機能バイオ炭「宙炭（そらたん）」（※）の製造・販売しています。また、バイオ炭の農地施用における J-クレジットのプログラム事業者でもあり、農家のバイオ炭施用に伴う炭素固定量のカーボンクレジット化から代行販売まで、一気通貫でサポートしております。今後は、農林水産省中小企業イノベーション創出推進基金事業（交付限度総額約 12.5 億円）や本連携を通して、温室効果ガス削減、地域の未利用バイオマス処理、減化学肥料・有機農地転換を同時に実現できるソリューション「高機能バイオ炭」の確立を目指します。

（※）宙炭とは、バイオ炭の多孔質に有用微生物を住まわせたバイオ炭のこと。農地施用により、通常 3～5 年かかる土づくりを僅か 1 ヶ月まで短縮できると共に、土壌環境の適正化や農作物の収量向上、有機転換の減収リスクカバー等の効果があります。

■ 本連携について

今回、兼松アグリテックは、これまでのビジネスを起点に培ってきた農業分野における知見とコネクションを活用して、当社の有機配合肥料および宙炭の更なる普及と環境に配慮した農作物の生産体系構築をサポートします。また、兼松との連携を通して生産された農作物と本取組みで創出されたカーボンクレジットをセットで流通させることで、購買企業様のサプライチェーン排出量削減に資する取組みを推進します。最終的には、国内農業における化学肥料の使用量低減と有機転換を促進すると共に、農業・食品サプライチェーンにおける脱炭素化・持続可能性の向上に繋げることを目指します。

兼松グループは、2024 年 4 月から開始した 3 カ年中期経営計画「integration 1.0」の主要施策における GX 注力分野のひとつに「農業・食品 GX」を掲げています。兼松が深く関わる食料サプライチェーンにおいて、環境負荷の少ない食料の創出・供給を通じて脱炭素と資源循環（サーキュラーエコノミー）に貢献し、持続可能なサプライチェーンの構築を目指して参ります。

■ 企業概要

商 号	株式会社 TOWING
設 立	2020 年 2 月 27 日
代 表	代表取締役 西田 宏平
所 在 地	愛知県名古屋市千種区不老町 1 番 国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 インキュベーション施設
事 業 内 容	1. 宙炭（そらたん）の製造・販売、導入支援 2. 宙炭の利用量に応じた、カーボンクレジットの代理取得・販売 3. 宙炭を利用して生産した作物の販売
ウェブサイト	https://towing.co.jp/

以 上

【お問い合わせ先】

兼松アグリテック株式会社 肥料農産部門

電話：048-971-8399

<https://www.k-agri.co.jp/contact>